

令和2年
3月定例会

一般会計予算過去最高の352億円 (前年度から127%増)

令和2年第1回(3月)定例会は、去る2月21日から3月16日までの25日間の会期で開かれました。今回の定例会では、中山義隆市長の施政方針演説が行われ、令和2年度の市政運営の方針が示されたほか、「石垣市ばんちゃぬふぁー未来応援基金条例」等の条例議案17件、「令和元年度石垣市一般会計補正予算(第4号)」等の補正予算議案7件、「令和2年度石垣市一般会計予算」等の当初予算議案8件、その他議案7件の計39件の案件が市長より提出され、それぞれ原案のとおり可決及び同意・報告されました。

なお、本会議の議決にあたり、総務財政委員会には、「令和2年度石垣市一般会計予算」等9件の議案を付託。経済民生委員会には、「令和2年度石垣市国民健康保険事業特別会計予算」等15件の議案を付託。建設土木委員会には、「令和2年度石垣都市計画土地区画整理事業特別会計予算」等11件の議案が付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきもの及び、令和2年度石垣市一般会計予算については修正可決すべきものと決定されました。

議員提出議案については、県立八重山病院内保育所の設置を求める意見書等の3件の意見書が提出され、それぞれ可決されました。また、最終本会議にて石垣市議会解散に関する決議、市長不信任決議が提出されましたが否決されました。

3月9日から3月13日の5日間の日程で行われた一般質問では、18人の議員が本市の諸課題について質すなど活発な議論が交わされました。



陸上自衛隊駐屯地建設予定地の様子

可決
3月定例会にて、陸上自衛隊駐屯地建設予定地の市有地を売却する議案が平得大俣地域への陸上自衛隊駐屯地配備に関する特別委員会(長山家康委員長)に付託され、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定されました。
また、市有地売却に伴う歳入が盛り込まれた一般会計補正予算は総務財政委員会(砥板芳行委員長)に付託され、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定され、それぞれ2日の

陸自駐屯地建設予定地 市有地及び財産の 処分について

本会議において委員長報告のとおり可決されました。
売却処分価格は4億1770万3800円(内、市有地3億9700万円、立木の損失補償額2070万3800円)で、処分面積は約13・6畝となっております。

石垣島まつり関係補助金を予備費へ 令和2年度 石垣市一般会計予算

修正可決

3月定例会では、総務財政委員会(砥板芳行委員長)に「令和2年度一般会計予算」など9件の議案が付託され、慎重審査の結果それぞれ原案のとおり可決・修正可決すべきものと決定されました。

また、本会議においても委員長報告のとおり可決され、総額352億円の一般会計予算が成立しました。
その主な歳出の内訳としては、「新市庁舎建設事業」38億4046万円、「児童運営費」27億100万円、「牛乳加工施設の整備事業」10億1912万円、「石垣小学

校校舍新增改築事業」9億345万円などが計上されております。

なお、石垣島まつり関係補助金は、出店業者の選定に疑義があること、美崎町浄化に官民で取組んでおり、審査を厳格にすべきことから予備費に組み替えております。



4月1日より八重山警察署に組織犯罪対策課が新設された。

固定資産評価審査 委員会委員を選任

今定例会において、固定資産評価審査委員会委員として次の方の選任が同意されました。

遠藤 正夫 氏
前里 和江 氏